



# さぽナビ

第13号 2012年 1月発行

のしろ市民活動  
いろは塾特別編

## 能代に広げよう支援の輪

1月30日、東日本大震災により県内で避難生活を余儀なくされている方たちへの支援活動のあり方をともに探ることを目的として、のしろ市民活動いろは塾の特別編「探そう私たちでできること 広げよう支援の輪」を市勤労青少年ホームで開催しました。

県が作成している「他県からの避難者受入状況（総括表）（第51報）」によると、1月27日現在で、県内には1559人が避難されており、能代市では39世帯109人（三種町2世帯7人、八峰町6世帯12人）が避難生活を送っています。

この日は県企画振興部総合政策課政策監兼被災者受入支援班班長の高橋修さんと、県山本地



県内避難者の状況と支援事業の展望を説明する高橋さん

県北地区の相談員として、約30世帯を担当する大山さん



域振興局地域企画課避難者支援相談員の大山智佳子さんら話を提供者として招き、県内避難者の状況などについて説明をしていただきました。

高橋さんは「借上住宅に入居されている大部分は秋田県にはまったく縁もゆかりもない方。子どもがいる家庭では父親が地元に残って就業し、母親が乳幼児やそのきょうだいを連れて避難しているパターンが多い」などの特徴を挙げ、「焦点を絞って行っていく必要があるのでは」と一つの方向性を示しました。

また大山さんは、母子で避難している世帯から話を聞いたところ、「長い時間だと子どもが帰ってくる時間帯に間に合わないため、ちょっとした時間出かける

機会がほしい」という声や、「雪道での」車の運転に慣れていないため、秋田市にある県避難者交流センターまで行くのを躊躇している」という実例を話していただきました。

参加者からは避難者を招いた催しを実施した経験を踏まえ「イベントに招待するのはすでに行われていてそれはそれで良かったが、避難者同士ゆっくりと話ができる時間をつくりたい」「移動する手段に制約がある方たちをどうするか」といった意見や質問が出されました。

今後、当センターでは避難者を支援する市民活動に向けた事業の情報を、登録団体や避難者支援についてご関心のある方に随時お届けしていく予定です。



具体的な質問が出され取り組みへの強い意欲がうかがえた

### センターからのお知らせ

ライブの収益金を受託

音楽活動で被災地支援

このほど、昨年10月に市民プラザで行われた「AQUA P-Tライブツアーin能代」の実行委員会（谷内成治委員長）と同じく昨年11月にプラザ都で行われたバンド3組による「トリプル・ショイント・ライブ」の実行委員会（九嶋和郎委員長）が、収益金の一部を東日本大震災被災地の支援活動に取り組んでいる地域の団体の運営費に使ってほしいと、当センターに寄託していただきました。

当センターには両方の運営に携わっている中村浩三さんが来館、それぞれの収益金2万5千円と3万3千円余をお預かりしました。

この義援金は、中間支援組織や市民ファンドによる現地NPOの後方支援活動に提供する方向で検討しています。

既報のとおり昨年3月から8月までに当センターに寄託された義援金は「お茶碗ひかびかプロジェクト」の経費とせんだい・みやぎNPOセンター「はばだけ！みやぎNPO復興活動応援基金」への寄付として使われております。

## 市民活動のための助成金情報

### 福祉

能代市社会福祉協議会が実施する介護保険事業等の収益金の一部を活用して、地域住民が地域の公民館や集会所等を拠点に、高齢者や子育て中の親子、障がい者が地域で孤立することなく安心して暮らせる地域づくりのために行う「ふれあい・いきいきサロン」の運営費に助成します。

制度名：いきいきサロン支援事業

対象団体：1. 65歳以上の高齢者 2. 就学前の子育て中の親子 3. 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者 いずれもボランティアを含め5人以上

対象事業：地域の高齢者等が、歩いていける地区公民館や集会所等を拠点に、「居場所」や「話し相手」を作っていく運動を支援します。

助成金：【助成対象回数】年3回以上、12回まで。ただし、年度途中で新たに設置したサロンにあっては、この限りではありません。【助成基本額】参加人数に1人あたり100円を乗じた額とし、限度額を3,000円【会場借上料】1,000円を限度とし、借り上代は実費分

問合せ：能代市社会福祉協議会 能代支所 TEL.0185-89-6000

能代市社会福祉協議会 ニツ井支所 TEL.0185-73-3801

または担当の民生委員

関連URL：社会福祉法人能代市社会福祉協議会

<http://www.shirakami.or.jp/~noshiroshakyo-h/> > 地域支援体制の基盤整備 地域福祉活動の支援と人材育成 > いきいきサロン支援事業

この他にも助成金情報がありますので、支援センターまでお問合せください。

2/15

のしろ市民活動いろは塾 第4回  
催しもの企画力開発講座  
つどいを演出！心をくすぐる魅力ある企画のつくりかた

経験豊かな地域づくりの仕掛け人を講師としてお招きし、発想の方法やまとめ方、伝える技術、運営の方法などを紹介していただきます。

日時：2月15日（水） 14:00～16:00

場所：能代市中央公民館 視聴覚室

講師：草薙孝悦さん（秋田県レクリエーション協会常任理事）

対象：市民活動団体の方 催しものの企画に興味のある方

定員：20人（団体から2人以上の参加をおすすめします）

参加費：無料

申込・問合せ：能代市市民活動支援センター

TEL.0185-52-0355

2/19

「地域における国際化を考える」～若者・外国人・誰もが活躍できる地域（東北）を目指して～ 第6回講座

今回の講座の締めくくりとして外国籍住民の在留資格の基礎を学ぶ講座を企画したのは、多くの人達は外国人に在留資格があることさえ知らずに関わっている現実があります。この機会に、在留資格の直轄の窓口

である機関から私達が知っておくべき基礎知識を学ぶ講座をお願いしました。

日時：2月19日（日） 10:00～12:00

場所：能代市中央公民館 視聴覚室

講師：横山譲司さん（仙台入国管理局秋田出張所長）

申込・問合せ：のしろ日本語学習会

TEL.090-3640-0459（北川さん）

3/3

女子力が能代を変える！ 第1回

能代山本などで活動する若手女性から話を聞きます。この講座は能代市中央公民館と能代市市民活動支援センターとの共同で実施するもので「のしろ市民活動いろは塾番外編」を兼ねて開催いたします。

日時：3月3日（土） 10:00～11:30

場所：能代市中央公民館 視聴覚室

講師：大谷美帆子さん（おらほの産科小児科を守る会）

対象：一般（男性可）

定員：20人

参加費：無料

申込・問合せ：能代市中央公民館

TEL.0185-52-8141

能代市市民活動支援センター

TEL.0185-52-0355

お知らせ掲示板

